



江渡 信貴
(高志会)

バイオマスを活用した 地域振興を

関係機関と連携しながら 調査研究したい

議員 小中学校におけるパソコン等のICT教育機材の整備状況は。また、教職員が業務で使用するパソコンはどうなっているか。

教育部長 小学校分は今年度で全校の更新が終了し、来年度から中学校分の更新をする計画としています。教職員については、私用のものを使っていると聞いています。

議員 生物由来の再生可能エネルギーを有効活用し、地域産業を活性化させるバイオマス産業都市構想を市ではどのように捉えているか。

農林部長 国のバイオマス産業都市構想は、地域バイオマスの原料生産からその後の収集・運搬・製造・利活用までを一貫した経済システムとして構築

し、各関係機関が連携することで地域産業の創出と地域資源循環型社会の強化を推進し、地域の特色を生かしたバイオマス産業を軸とする環境にやさしく災害に強いまちづくりの創出を目指すものです。当市でも今後、包括的な協議のもと、関係機関と連携を図りつつバイオマス利活用者の要望内容や需要量を考慮しながら調査研究したいと考えています。

議員 昨年度からスタートした定住自立圏のこれまでの協議概要と今後の方向性は。

市長 共生ビジョンには生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化に係る三つの政策分野に関する計三十事業を掲げ、中長期的な視点から

連携を進めています。今後、適宜協定や共生ビジョンの見直しを行いながら進めたいと考えています。

企画財政部長 三十事業のうち十八事業は定住自立圏形成前から実施されており、新規十二事業のうち七事業が実施に至りました。また、来年度から事業開始予定の消費生活相談事務について、現在共生ビジョンの変更手続を進めています。



定住自立圏として連携強化を

滝沢家から寄贈された 歴史的資料の価値は 当市の歴史を考える 貴重なもの



今泉 勝博
(市政・社民クラブ)

代から続く旧家と言われています。今回、明治時代に建てられた母屋等を解体することから、古くから伝わっていた資料等の寄贈を受けました。

当市の市街地は幕末期の開拓で整備された比較的历史の新しいまちであり、江戸期における歴史を解明するための資料が非常に少なかったことから、今回寄贈された古文書、古書等の資料は、当市の歴史を伝えるばかりでなく、未来を考える上でも大変貴重なものです。今後大切に保管し、調査研究していきたいと考えています。

議員 費用や時間がかかっても解読すべきでは。資料は台帳を作成し、郷土館にて整理・保管します。その上で調査研究をし、その成果を市民へ公開していきたいと考えています。

議員 当市の元教育長滝沢氏のご子息から、昔から滝沢家に伝わる資料を寄贈されたとのことだが、どのような資料がどのような経緯で寄贈になったのか。

市長 滝沢家は鎌倉時

るものと思われる。寄贈になった資料にはどのような価値があるのか。

教育長 寄贈された古文書、古書等の資料の詳細はまだ不明ですが、今後解読することによって当市の新たな歴史が掘り起こされる可能性が十分にある貴重な資料ではないかと考えています。

議員 費用や時間がかかっても解読すべきでは。資料は台帳を作成し、郷土館にて整理・保管します。その上で調査研究をし、その成果を市民へ公開していきたいと考えています。



寄贈になった資料の一部